



2019年「県民暮らしのアンケート調査」結果について

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）では、香川県民の暮らしや消費の実態・意識等を把握するために、「県民暮らしのアンケート調査」を実施しましたので、その結果をご報告します。

【調査概要】

調査対象	香川県内在住の20歳以上の男女
調査方法	インターネット調査（調査会社の登録モニターによる回答）
調査時期	2019年8月30日～9月5日
回答状況	有効回答者数 520人
調査委託先	一般財団法人 百十四経済研究所

県民暮らしのアンケート調査

(2019年8月実施)

香川県民の暮らし向きや消費の実態・意識を把握するために、「県民暮らしのアンケート調査」を実施した。

調査結果の概要

- I- 1. 現在の県内景気：「(やや)良くなった」と回答した人は、9.4%から6.9%に減少。
 「(やや)悪くなった」は、15.1%から19.1%に増加。
2. 景気がそうなったと思う主な理由：「(やや)悪くなった」と回答した人は、
 「商店街、繁華街の混み具合をみて」が50.5%と最も多い。
- II- 1. 現在の収入：「(やや)増えた」と回答した人は、16.1%から14.1%に減少。
 「(やや)減った」は、29.4%から29.2%と同水準。
2. 世帯の家計の管理：既婚者353名のうち、30歳以上の年代では、世帯の家計の管理を行っているのは、女性配偶者が半数以上。
- III- 1. 現在の物価：「(やや)下がった」と回答した人は、3.0%から2.9%と同水準。
 「(やや)上がった」は、55.1%から52.1%に減少。
2. 老後資金の不安：「感じている」と回答した人は、72.9%。
 「感じていない」・「わからない」と回答した人は27.1%。

アンケート調査概要

- 調査期間：2019年8月30日～9月5日
- 調査対象：香川県内在住の20歳以上の男女
- 調査方法：インターネット調査（調査会社のモニターによる回答）
- 有効回答数：520人
- 回答者の構成と属性

■年代別・性別

	計		男性		女性	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
20代	70	13.5%	35	6.7%	35	6.7%
30代	94	18.1%	48	9.2%	46	8.8%
40代	127	24.4%	64	12.3%	63	12.1%
50代	106	20.4%	53	10.2%	53	10.2%
60代以上	123	23.7%	61	11.7%	62	11.9%
合計	520	100.0%	261	50.2%	259	49.8%

■世帯の年収別

	人数	構成比
300万円未満	83	16.0%
300～500万円未満	122	23.5%
500～700万円未満	91	17.5%
700～1000万円未満	62	11.9%
1000万円以上	35	6.7%
答えたくない・わからない	127	24.4%
合計	520	100.0%

■世帯主の職業別

	人数	構成比
会社員	252	48.5%
公務員	47	9.0%
自営業	47	9.0%
パート、アルバイト	54	10.4%
専業主婦(専業主夫)	13	2.5%
無職	97	18.7%
その他	10	1.9%
合計	520	100.0%

■世帯の人員別

	人数	構成比
1人	74	14.2%
2人	165	31.7%
3人	137	26.3%
4人	97	18.7%
5人	33	6.3%
6人	7	1.3%
7人以上	7	1.3%
合計	520	100.0%

■住宅の種類別

	人数	構成比
持家(一戸建て)	336	64.6%
持家(マンション等)	56	10.8%
社宅	19	3.7%
借家	109	21.0%
合計	520	100.0%

(注) 四捨五入の関係で内訳と合計が必ずしも一致しない場合がある。(以降、本文中の図表も同様)

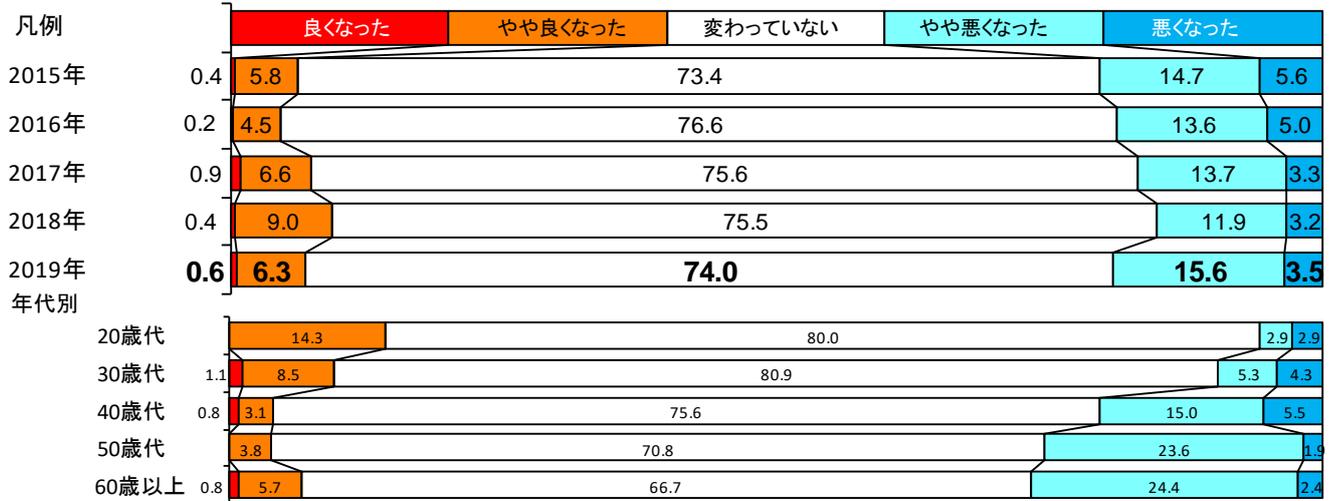
I. 香川県内の景気について

1. 現在の景気（1年前と比べて）

現在の景気について尋ねたところ、「良くなった」・「やや良くなった」と回答した人の割合は、昨年の9.4%から6.9%となり、2.5ポイント減少した。「悪くなった」・「やや悪くなった」は、昨年の15.1%から19.1%となり、4.0ポイント増加した。景気が良くなっているとした人の割合が減少し、悪くなっているとした人の割合が増加している。

過去5年の動向では、昨年をピークに悪くなっているとした人の割合が増加しており、県民の景況感は頭打ちとなっていることがうかがえる。

Q: 1年前に比べて、現在の香川県内の景気は良くなったと思いますか、悪くなったと思いますか。 (%)



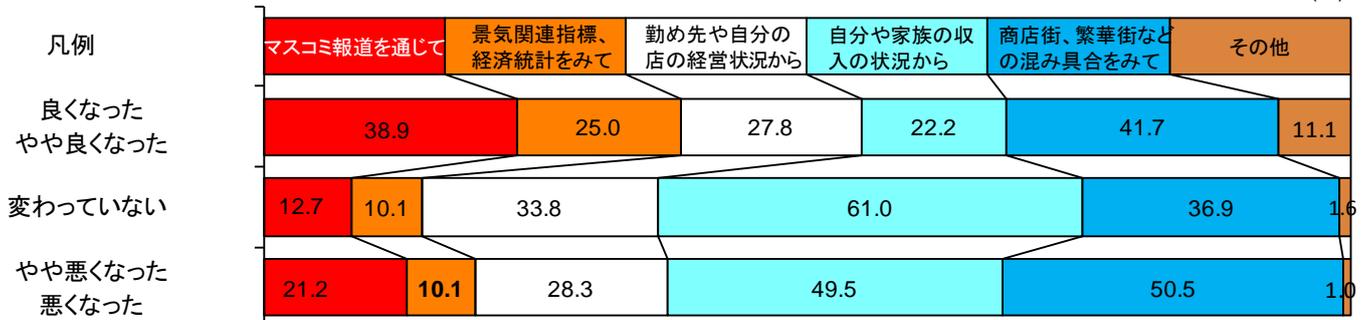
2. 景気がそうなったと思う主な理由

現在の景気が「良くなった」・「やや良くなった」と思う理由は、「商店街、繁華街などの混み具合をみて」が41.7%と最も多く、次いで「マスコミ報道を通じて」が38.9%となっている。

「変わっていない」と思う理由は、「自分や家族の収入の状況から」が61.0%と最も多く、次いで「商店街、繁華街などの混み具合をみて」が36.9%となっている。

「やや悪くなった」・「悪くなった」と思う理由は、「商店街、繁華街などの混み具合をみて」が50.5%と最も多く、次いで「自分や家族の収入の状況から」が49.5%となっている。

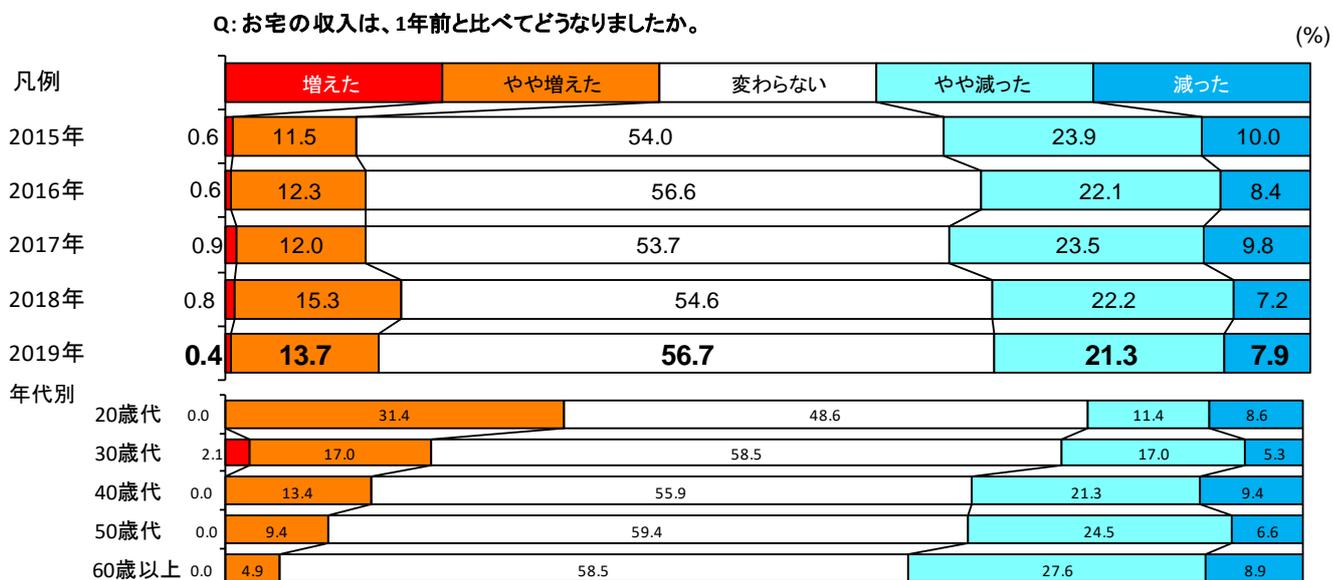
Q: 1年前に比べて、現在の香川県内の景気はそうなったと思う主な理由は何ですか(2つまで) (%)



Ⅱ. 世帯の収入と支出について

1. 現在の収入（1年前と比べて）

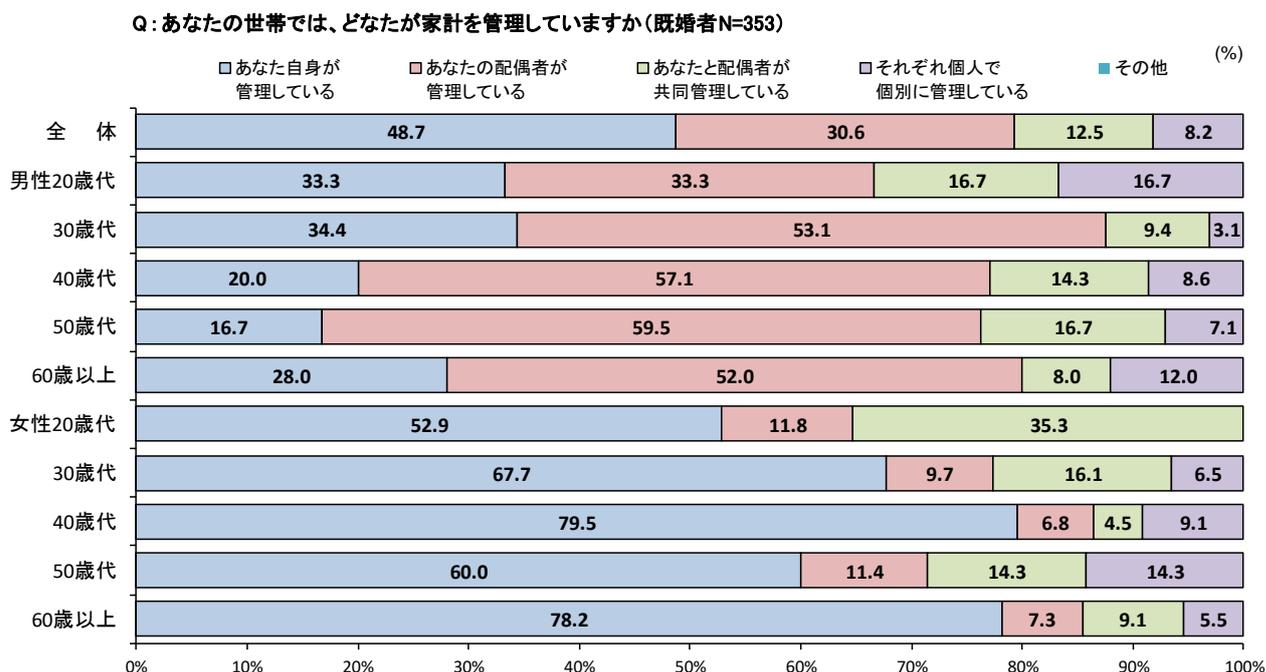
現在の収入について、1年前と比べてどうなったかを尋ねたところ、「増えた」・「やや増えた」と回答した人の割合は、昨年の16.1%から14.1%となり、2.0ポイント減少した。「減った」・「やや減った」は、29.4%から29.2%となり、0.2ポイント減少した。



2. 世帯の家計の管理

既婚者 353 名に世帯の家計管理を誰がしているかを尋ねたところ、男性 30 歳以上の半数以上の世帯で配偶者が管理しており、女性では 40 歳代、60 歳以上の 7 割超、30 歳代、50 歳代で 6 割超が自身で管理している。

また、女性の 20 歳代では「あなたと配偶者が共同管理している」が 35.3%となっており他世代との違いが表れている。



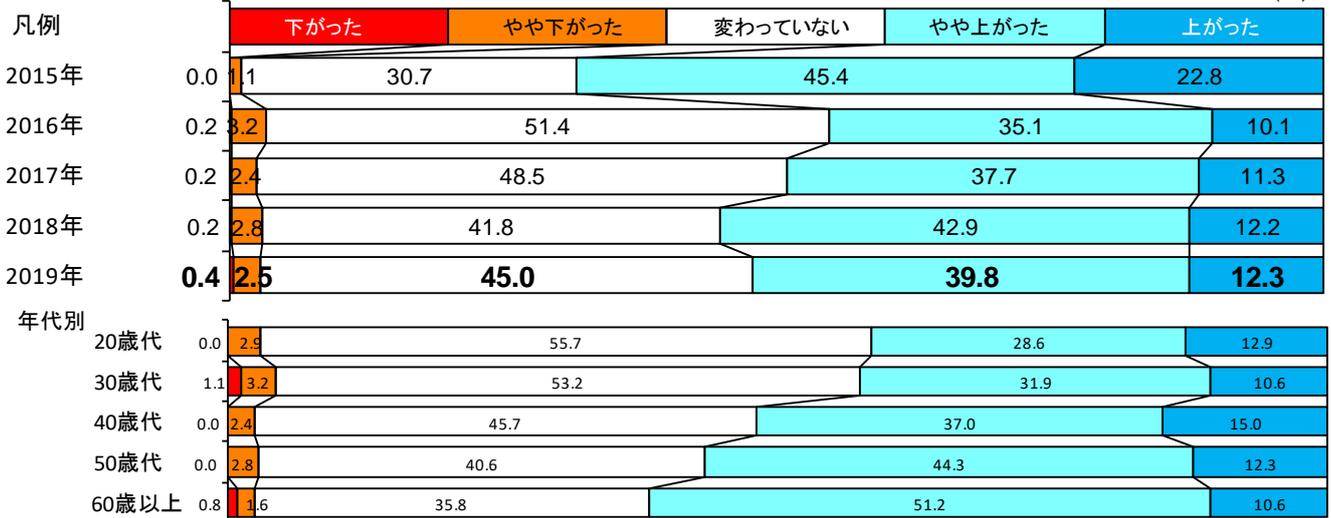
Ⅲ. その他

1. 現在の物価（1年前と比べて）

物価について尋ねたところ、1年前と比べて「下がった」・「やや下がった」と回答した人の割合は昨年の3.0%から2.9%となり、0.1ポイント減少した。「上がった」・「やや上がった」は、昨年の55.1%から52.1%となり、3.0ポイント減少した。

Q: 1年前と比べて物価が下がったと感ずますか、上がったと感ずますか。

(%)



2. 老後の資金について

老後の資金に不安を感じるか尋ねたところ、「感じている」が72.9%となった。とりわけ50歳代は83.0%と高い。

Q: あなたは老後資金に不安を感じていますか。

(%)



回答者のうち老後資金の準備をしている人は43.3%にあたる225人で、その積立額は、「1万円以上3万円未満」が44.4%で最も多く、次いで「1万円未満」が21.8%であった。

Q: 毎月いくぐらい積み立てていますか(厚生年金、国民年金は除きます)。老後の資金を準備している人(N=225)

(%)



(百十四経済研究所 後藤 健文)